

令和5年3月28日

令和4年度 学校関係者評価委員会議事録

学校法人 栗原学園

北見情報ビジネス専門学校

学校関係者評価委員会

学校法人栗原学園の学校関係者評価に関する規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施しました。下記にその内容を公表いたします。今後も各評価委員からのご意見を真摯に受け止め、より良い教育を目指し学校教職員一同努力して参ります。

1. 開催日時 令和5年3月27日（月）18：00～
2. 場 所 北見情報ビジネス専門学校 4F 402教室
3. 出席者 規程の委員および学校職員
4. 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 校長挨拶
 - (3) 協議事項
 - ①学校関係者評価委員会趣旨説明
 - ②学校関係者評価 教職員自己点検による報告
 - ③意見聴取
 - (4) 閉会

学校法人栗原学園 学校関係者評価委員会は令和3年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会

| 選出区分 | 氏名 | 就任時の職名等 |
|-------|-------|-----------------------------|
| 企業等委員 | 近藤 千鶴 | 株式会社ベストメント 代表取締役社長 |
| 企業等委員 | 由村 公平 | 株式会社日本旅行北海道 北見支店長 |
| 企業等委員 | 柴田 喜史 | 社会医療法人恵和会 アメニティー美幌 事務長代理 |
| 卒業生 | 野田 貴浩 | 株式会社タカノ商事 課長 |

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

| 項 目 | 評 価 |
|-----------------|--|
| | 北見情報ビジネス専門学校 |
| 基準Ⅰ 教育理念・目標等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2) 社会のニーズ等を踏まえた学園の構想を抱いているか。このことに関して、地域での就職を第一目標として学生指導を行っているが、企業から求められる人材として DX に対応した能力も挙げられるため、対応していきたい。 ・ 委員会より 特に意見なし |
| 基準Ⅱ 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 3) 情報システム等による業務の効率が図られているか。このことに関して、Slack の導入などコミュニケーションデジタルツールを使用することにより効率化を図ることができている。より、成績処理など正確性がもとめられる処理の効率を向上させるシステムを模索中である。 ・ 委員会より 特に意見無し |

| | |
|---------------------|---|
| <p>基準Ⅲ 教育活動</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1) 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として修業年限等に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。このことに関して、シラバスにより、内容等を明確化している。学習時間についても現在では対面授業、演習にしているため、コロナ禍で課題であった演習レベルを向上させることができ、登録販売者の資格、日商簿記2級、基本情報技術者試験など難易度が高い資格の合格率が上がっている。教育到達レベルについてはさらに向上が見込めるためカリキュラム調整などを継続的に行い、検証をする必要がある。 ・ 4) 関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直しが行われているか。このことに関して、事務科の人数低迷のため、教育課程の見直しを考えている。事務職の魅力が高校生に伝わりづらい点を解消したい。 ・ 委員会より 事務職は多種多様なため、インターンシップを増やし、自分に合った事務職を見つけることも必要である。また、複数の職種を経験することも行ってみてもよいのではないか。(柴田) 事務科が少ないのはもともと目指す人は少なく、向いていると感じた人になるものではないか。 事務職に魅力を感じるかという、そうではなく振られた仕事を行う人という認識になっている。(由村) |
|---------------------|---|

| | |
|---------------------|---|
| <p>基準Ⅳ 教育成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1) 就職率の向上は図られているか。このことに関して、学校内で実施される就職説明会については、先方の企業等と実施時期の調整など柔軟に対応している。学生に対し個別に就職活動状況、その活動に対するヒアリング等実施している。 ・ 3) 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか。このことに関して、在校生の社会的な活動としてアルバイト状況は年に1回の身上書記入及び学生とのコミュニケーションの中で把握が出来ているが、卒業生に対しては本校へ採用活動等に来ていただける企業様から教示いただくか、本人が来校した場合に確認する形が多い。 ・ 委員会より 企業も学生に対して貢献していかないとその企業が必要としている能力は育っていかない。(近藤) →先生と講師しか学生にとってはかかわりがない 卒業生講話や様々な職種の方が来校して話をしていくことが高校等では行っているが専門学校ではできていない。次年度では難しいと思うが、いずれ実施したい(中村) 人材一人見つけるのに150万かかるといわれている。 地元に残すことを重視してほしい。(近藤) |
|---------------------|---|

| | |
|---------------------|---|
| <p>基準V 学生支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1) 学生相談に関する体制は整備されているか。 このことに関して、2,3年前と学生の特徴は違うところが多い。 自分のことを表に出さないため、変化を事前につかむことが難しく、把握するまでに問題が大きくなるケースがある。 事前把握することを念頭に置いて次年度実施したい。 ・ 6) 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 このことに関して、電子カルテが病院等で利用する施設が増えて いる中、授業ではレセプトコンピュータのみ使用している。電子 カルテの教育利用をする際、学生のデータを共通化する難易度が 高いため現在導入方法を検討している。 PCについては5年に一回総入れ替えを実施しているため、最新 のソフトウェアが動作する環境を常に整えている。 ・ 7) 学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策 が整備されているか。このことに関して、現状の課題であると認 識している。 自己分析が苦手な学生が多く、自分自身を過小評価してしまい、 苦手な箇所は多数出てくるが、強みが出てこないといった結果に なってしまう。 外部の自己診断ツールを導入して、客観的に見られるようにする 予定。 ・ 委員会より 特に意見無し |
|---------------------|---|

| | |
|-----------------------|---|
| <p>基準VI 教育環境</p> | <p>・ 1) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。このことに関して、エアコンの設置の実施、学生用いすを新たに百脚導入、音響設備の更新、学校の施設、設備に関しては更新をしている。</p> <p>学生のアンケートからも指摘があるため、トイレの改修をできる限り早急に実施する予定。</p> <p>・ 2) 防災に対する体制は整備されているか。このことに関して、学校施設の定期的な点検や、非常階段の補修工事を実施している</p> <p>・ 委員会より 特に意見無し</p> |
| <p>基準VII 学生募集</p> | <p>・ 1) 学生の募集は適切に行われているか。このことに関して、公式LINEの導入などSNSを活用した広報を実施していくことで入学を考えている人に細かなサポートをできるようにしていく。</p> <p>・ 委員会より 総合事務科のカリキュラム改定はあるか。(柴田)</p> <p>→FP試験の合格を目標とした授業を実施する。また、調剤事務と登録販売者の授業を分けるなどを行い、違った分野についても取り組んでいく(林)</p> <p>→動画やドローンを事務科にも取り入れてはどうか。(柴田)</p> <p>外国人の方を入れないのか?(柴田)</p> <p>→15年前に中国人の学生がいた。数年前に台湾から問い合わせがあったがコロナ禍のため断った。(林)</p> <p>→会社にも韓国から来た人がいるため、協力できることがあれば協力</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| | <p>したい。(由村)</p> <p>→オホーツク社会福祉専門学校には次年度 1 名いる。日本語教育も並行しながら実施する。施設等の兼ね合いもあり介護福祉科で受け入れる。</p> <p>H29 年設立したホテル観光にも広げたかったがコロナによって学生数が伸び悩んでしまった。(中村)</p> <p>→ホテル観光業は5年後に一気に伸びると思う (由村)</p> |
| <p>基準Ⅷ 財務</p> | <p>・ 1) 中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。このことに関して、卒業生より入学生のほうが多いが、このままいくと少子高齢化等の要因で減っていく可能性を考慮し、積極的な募集を行っていく。</p> <p>・ 委員会より 人生100年時代になってきているため、専門学校で学びなおしをすることは難しいか。(近藤)</p> <p>→PCに触れているかいないかのギャップが大きい(林)</p> <p>→マーケットを広げる形で高年齢の方にも教えるような環境が専門学校で実施できると面白いのではないか。 60代で仕事をしていない方に向けて考えてみると良いかもしれない。(近藤)</p> |
| <p>基準Ⅸ 法令等の遵守</p> | <p>・ 点数が下がっているが、内容に特段変更なし</p> <p>・ 委員会より 特に意見無し</p> |

| | |
|----------------------|---|
| | |
| <p>基準X 社会貢献等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。このことに関して、北専各連からの依頼により、中学生が体験できるよう様々なものを行っている。昨年度と比べ、2校減っているが、延べ人数は半分ほどになっている。 以前は口コミ等で広がっていたが、コロナ禍の緩和に伴い札幌に行くなどにより、以前来た学校が来ないケースがあった。 体験授業としては、「動画CG」「プログラミング」「ドローン体験」「韓国語」の受講希望者が多い。 ・ 2) 学生ボランティア活動を奨励・支援しているか。このことに関して、北見市のカーリングを通じた国際交流などに促し、学生が複数名参加している。 ・ 委員会より 先生と会社のつながりが必要だと考えられる。先生を通して学生につながり、企業の人と学生が話す機会が生まれる。学生にとっての人生相談する窓口や、つらいことから逃げ道にもなることができる。(由村) |

3. 学校関係者評価 全体的な総括について

| | |
|------------------------|--|
| 自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見 | <ul style="list-style-type: none">・委員会より <p>専門学校ニーズは社会に必要とされている人材になるために必要な資格を取ることにある。</p> <p>最近の仕事はなんでもパソコンがやってくれる。</p> <p>仕訳もパソコンがやってくれるため、簿記の知識があった方がいいが無くてもできる。事務の女性は書類の点検等をしていたが、DX化してやることがなくなってきている。</p> <p>やることがなくなっているため辞めてもらうわけではなく、お客様とコミュニケーションをとったりしている。</p> <p>事務の能力とコミュニケーション能力は必要とされるものが全く違うが、業務が多様になりコミュニケーション能力が必要になっている。会社の一員として考えていくとなると事務の能力がいかにあってもコミュニケーション能力がないと難しい。(近藤)</p> <p>業務が直接関係なくてもノウハウを活かす事が出来る。</p> <p>ワクチン接種を実施したとき、添乗員による誘導、受付業務、交通の案内など旅行会社として培ったものを別の事業にも活用することを行った。(由村)</p> <p>CBT試験が旭川などまでいかなければいけなかったが、今は学園施設にて受験できるようになって良い。(野田)</p> |
|------------------------|--|